

ため池ハザードマップ

【保存版】

ため池ハザードマップについて

ため池ハザードマップには、豪雨や大規模な地震により、万が一ため池が決壟した際、みんなが安全に避難するための必要な情報が記載されています。

ハザードマップの利用により、地域住民が日頃から災害発生に関する情報を共有し、災害発生時に迅速かつ的確な避難を行うことが可能となるとともに、二次災害を防ぐこともできるため、災害による被害の低減に有効です。

本ハザードマップに表記されている浸水想定区域は、一定の条件によるため池の決壟を想定しており、浸水想定区域以外でも、被害が発生する場合が考えられます。

日頃から防災意識をもち、事前に避難場所までの経路を確認するなどして、いざというときに落ち着いて行動できるようにしましょう。

【本ハザードマップは、『ため池ハザードマップ作成の手引き(平成25年5月農林水産省 農村振興局 防災課)』を参考に作成されています。】

【ため池ハザードマップの目的】

	地域住民	水管理者	施設管理者
日常	<ul style="list-style-type: none">防災意識の醸成避難場所及び経路の確認災害学習会の実施	<ul style="list-style-type: none">管理及び点検の強化防災意識の向上	<ul style="list-style-type: none">ため池や地域の状況把握連絡体制の確立地域防災計画等への反映
非常時	<ul style="list-style-type: none">円滑な避難災害情報の正確な把握	<ul style="list-style-type: none">状況に応じた操作施設情報の正確な把握と連絡予後の点検強化	<ul style="list-style-type: none">円滑な避難誘導適切な災害情報の発信域外からの来訪者の誘導

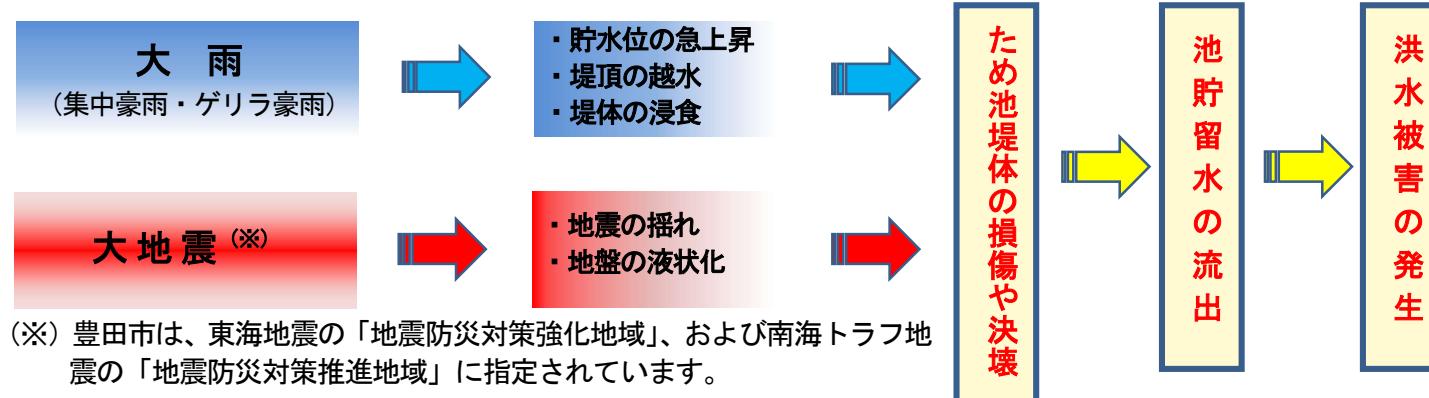
※)「ため池ハザードマップ作成の手引き」(農林水産省)より

防災重点農業用ため池について

防災重点農業用ため池は、ため池が決壟した場合の浸水が想定される区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与える恐れのあるため池で、下記の基準にあてはまるため池です。

- ため池から100m未満の浸水区域内に家屋、公共施設等があるもの
- ため池から100~500mの浸水区域内に家屋、公共施設等があり、かつ貯水量1,000m³以上のもの
- ため池から500m以上の浸水区域内に家屋、公共施設等があり、かつ貯水量5,000m³以上のもの
- 地形条件、家屋等との位置関係、維持管理の状況等から都道府県及び市町村が必要と認めるもの

ため池の災害について



日ごろからの備え

非常持出品・備蓄品を用意する

●避難する時に持ち出す必要最小限の「非常持出品」と、自宅で生活するための「備蓄品」を分けて用意する。

●どこに置くか、何を備えるか、家族で話しあう。

●定期的に中身や食料の賞味期限を確認する。衣服など季節に合わせた物を用意する。

非常持出品

◇避難する時に持ち出す最小限の必需品。

◇リュックなどに入れておく。

◇実際に持ち出せる量にする。

（男性15kg、女性10kgが目安）

備蓄品

◇ライフラインや物流が止まっている期間、生活するために必要なもの。

◇最低3日以上から1週間程度用意。

◇キッチン、車庫、物置、ベランダなど取り出しやすい場所に置く。

◇ケースなどに入れ、取り出しやすくしておく。

災害情報を入手

正確な災害情報の入手先

防災行政無線・防災ラジオ

災害時には音声と警報音でお知らせします。

テレビ・ラジオ

ひまわりネットワーク

- ひまわり12(地上12ch)
- 生活情報チャンネル(CATV126ch)

エフエムとよた「ラジオ・ラブィート」78.6MHz

防災テレホンサービス

防災行政無線で放送した内容を電話で確認することができます。

- 0120-34-0174(通話料無料)
- 0565-37-3530(通話料有料)

メール

- エリアメール・緊急速報メール
市内にある携帯電話(対応機種)へメールを配信します。
- 緊急メールとよた
事前に登録されたメールアドレスに緊急情報や気象情報を配信します。

インターネット

豊田市ホームページ(PC版)

<http://www.city.toyota.aichi.jp/>

豊田市ホームページ(携帯電話版)

<http://mobile.city.toyota.aichi.jp/>

豊田市防災気象情報サイト

<http://toyota-city.bosai.info/>

避難時の心得

○ため池が決壟する恐れのあるときは、まず
高い所などの安全な場所に避難し、安全確認
後に避難所へ移動する。

○がけ地や川沿い、**ため池の下流側**は避けて
避難する。

○近所と声をかけ合って、**家族やグループ**で避難
する。また、要配慮者にも声をかけて協力して
避難する。

○履物はスリッパ、サンダル、長靴は危険であり、
できるだけ**運動靴**等で避難する。

ため池ハザードマップに関する問い合わせ先

豊田市役所

産業部

農地整備課

(電話番号) 0565-34-6647

(FAX番号) 0565-33-8149